

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 487	193	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↘ 62	82	ヘルパンギーナ	↗ 11	7
咽頭結膜熱	→ 21	21	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 7	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 101	95	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 949	790	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 6	9
水痘	↘ 49	85	細菌性髄膜炎	↗ 1	0
手足口病	↗ 86	85	無菌性髄膜炎	↘ 0	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 1	0	マイコプラズマ肺炎	↗ 5	2
突発性発しん	↗ 33	31	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗ 1	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- インフルエンザ
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

手足口病 : 人吉、菊池  
 感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、菊池、八代

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	111	18	5	44	242	13	24	1	15		5	1		6	1		3		1
山鹿保健所	21	1			73	3			4		1		*	*					
菊池保健所	171	6	6	24	220	18	26		8		1								
阿蘇保健所	3			4	8								*	*					
御船保健所	3			1	31		9						*	*					
八代保健所	33	6	2	2	83	6			2			1							
水俣保健所	6	3			14		1		1				*	*					
人吉保健所	40	9	1	6	58	3	9					4	*	*			1		
有明保健所	74	1	1	5	145	5	5					1							
宇城保健所	21	14	5	12	34	1	8		3				*	*					
天草保健所	4	4	1	3	41		4				4						1		
計	487	62	21	101	949	49	86	1	33	0	11	7	0	6	1	0	5	0	1

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	487	1	5	16	18	15	30	32	45	31	25	19	144	17	16	25	26	2	12	5	3
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	62	13	16	16	6	5	5	1													
咽頭結膜熱	21				6	3	2	5	3	1		1									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	101				2	9	11	20	19	7	16	4	8	1	4						
感染性胃腸炎	949	9	63	212	113	84	51	56	56	50	35	30	87	26	77						
水痘	49	1	1	9	10	10	9	6	1		1		1								
手足口病	86		5	25	23	13	11	2	4	1	1		1								
伝染性紅斑	1								1												
突発性発しん	33	1	13	16	2	1															
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	11			9			1			1											
流行性耳下腺炎	7			1			1	1	1				2								
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	6													1	1		2		1	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	1															1					
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	5			2												1	2				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1		1																		

**インフルエンザ・感染性胃腸炎が急増中です**

【インフルエンザ】  
 今週のインフルエンザ報告数は487件でした。前週の193件から約2.5倍に増加しました。地域別では、菊池が最も報告が多く、一定点あたりの報告数が注意レベルを超えています。その他の地域でも、今後、報告が増加することが予想されますので、一人ひとりがしっかりインフルエンザの予防を行いましょ。

【感染性胃腸炎】  
 今週の感染性胃腸炎の報告数は、949件で、前週の790件の約1.4倍に増加しました。一定点あたりの報告数は、警報レベルに迫る勢いです。地域別では、菊池、有明、山鹿に加えて八代が警報レベルとなっております。

インフルエンザも感染性胃腸炎も感染予防の基本は手洗いです!

**インフルエンザの予防対策**

1. 予防接種  
 インフルエンザの予防接種には、感染後に発病する可能性を低くする効果とインフルエンザにかかった場合の重症化を防止する効果があります。予防接種を受けてから効果がでるまで2週間程度かかるため、早めに予防接種を受けましょう。医療機関によっては、インフルエンザの予防接種が12月で終了してしまうところもあります。
2. 手洗い  
 流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを流し落とす効果があります。ただし、洗いやすすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。意識して長めに手洗いを行いましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗いましょ。手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。
3. 咳エチケット  
 咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょ。また、咳やくしゃみがでる時、できるだけマスクをつけましょ。手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょ。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いと言われていましょ。